

第2回尾張西部交通圏タクシー準特定地域協議会 議事概要

日 時：平成26年11月12日（水） 10：00～

場 所：中部運輸局 11F 会議室

出席者：別添名簿のとおり

内 容：下記のとおり

1. 開会 … 事務局
 2. 協議会長あいさつ … 愛知県タクシー協会 青木会長
 3. 新構成員の紹介 … 事務局
 4. 定足数報告 …事務局
 5. 議事
 - (1) 協議会長の選任（交代）について
 - ・ガイドラインの趣旨について事務局説明。
 - ・会長を「名古屋大学加藤准教授」、副会長を「豊田都市交通研究所福本主任研究員」とする事務局案について、設置要綱第7条（1）の規定により議決。
 - 採決の結果、全構成員（当事者除く）の賛成により事務局案承認。
- 【新会長挨拶】
- ・当協議会は、タクシー特措法に基づくもの。タクシーは公共交通としての役割を果たすために適性化しなければいけないが、活性化もしていかなければいけない。活性化については自治体や利用者等の関係各位の方々の意見を踏まえて、何ができるかということと一緒に考えていく。これが本協議会の目的である。
 - ・会議そのものが活性化するように、皆様に前向きな意見を賜りたい。この会議によって、タクシーも含めた尾張西部交通圏の移動、動きやすくなるということが目的であるため、このことを念頭において、議論に参加して頂きたい。
 - ・一宮市、稲沢市の地域公共交通会議の副会長をやっており、両市の地域公共交通がどのように発展していけるかについて、そちらの会議とも連携して考えていければ良い。
- 【新副会長挨拶】
- ・豊田都市交通研究所ではタクシーを題材にした研究に取り組んでいる。公共交通としてタクシーを活用する為に、何か示唆を出せないかということで、タクシー車両やタクシー事業者さんの能力を使った新しいサービスというのが公共交通としてできないかということに取り組んでいる。
 - ・どのように地域の移動やお出かけを支えていくために、タクシーとして何ができるかということにこの会議で議論できればと思っている。

(2) 地域計画の進捗状況について

- ・資料 1、1-2、1-3、1-4 に沿って事務局説明。

【質疑応答】

- ・適性化・活性化を目的に地域計画を定めて実施したということだが、結果的にその目的に繋がっているかについて説明がなかった。それをどう測るかは難しい。実績の数値も他の要因もあり、完全にはリンクしていないと思うが、事業者としてどのように感じているか。(福本副会長)
- ・当社を含めたタクシー業界の状況は、各社減車をしてきたが、現状は需要のある時に働く人材がおらず、全車両が常に動いているということはない。(稲沢タクシー)
- ・当社でも全車動くということは少ない。(尾張交通)
- ・乗務員が常に不足している。配車センターを1か所で行っているため、効率的な配車のため、労働組合といろいろな見直しを行っている。昔ながらのエリアを分けての配車になっており、臨機応変な配車とはなっていないため、お客様にご迷惑をおかけしている。稲沢営業所では市のコミバスの運行を受託しており、一部タクシー運転手をコミバスに回したため、上手く車両の活用ができていない。(名鉄西部)
- ・日によってバラバラだが、繁忙期になれば需要に供給が追い付かない状況になる。(稲沢タクシー)
- ・24時間対応のため、深夜のニーズが多いとトラブルになる場合もあり、苦慮している(名鉄西部)
- ・バスでは入れない地域があり、今後コミュニティタクシーの需要が増える気はする。高齢者の割合が急に増加しており、交通弱者が急増する。コミュニティタクシーを検討していく必要がある。(一宮市)
- ・コミュニティタクシーの乗り場を44カ所に増やして設置した。需要は非常に低調に推移しており、乗り場を増やしてもその状況は変わらない。どのように活用していくかは今後の検討課題である。(稲沢市)
- ・現状の特定事業を見たときに、尾張西部交通圏に関するものが少ない。新しい計画はいかにも一宮・稲沢というこの地域オリジナルの計画にしたい。(加藤会長)

(3) 今後の取り組みについて

- ・資料 2、2-2、3 に沿って事務局説明。

【質疑応答】

- ・計画の中に「利用者から見て」という視点があまりない。タクシーというのは非日常の乗り物である。時間や体力的に厳しい時に使う乗り物であって、普段からタクシーを使うことはあまりない。ターゲットをどのように広げるか、絞り込むかということが必要。タクシーは到着するまで運賃が分からず、どのような運転手が来るかもわからない、着

くのもいつか分からない不安な乗り物で、運転手によって対応がバラバラで品質保証がない。最低限のラインを確保する為のタクシー運転手に対する教育はまだまだ手ぬるいと思う。

需要の少ない昼間の需要喚起も必要。パートの女性ドライバーで昼間の時間帯に勤務してもらおうというのも良いのでは。今使っていない人がどのようなサービスを求めているかを考えていかなければいけない。運ぶだけのサービスでお金をとるのは厳しくなっていると感じる、プラスアルファが必要。(福本副会長)

- ・PRや需要喚起については、タクシーの乗り方教室のようなものが実施できないか等、会社内のフリーターキングでは話が出るが、具体的に何をするのか、誰をターゲットにするのかということになってしまうと詰まってしまう。パートの女性ドライバーも検討しているが、ドライバー側にもどのような客が乗るのかという不安があり、また、収入が上がらないこともあり、ドライバーをいかに確保していくかが課題である。(名鉄西部)
- ・利用者の声を聞く仕掛けがこの協議会で必要。調査等する場合は協力をお願いしたい。個人的にはタクシー乗り場に興味がある。タクシーが常駐しているところが分からない。ショッピングセンター等に乗り場があることをもっとアピールしてはどうか。駅を降りたらタクシーが東口、西口どちらにいるのか分かるようにしないといけない、出口を間違えてもすぐに電話をかけられるように看板を立てておく、そういうところも一つ一つ見直していかなければいけないのでは。(加藤会長)
- ・単純な質問だが、訪日外国人の方が増えていく中で、海外からのお客さんはタクシーを使っているのか。(県)
- ・エージェントを通じての利用はあるが、観光目的のお客さんでいきなりタクシーを利用されるというのは非常に少ない。郡部では基本的にそのような需要がそもそもない。(名鉄西部)
- ・先ほど看板の話があったが、コミバスの運行している各自治体が、駅前にその案内等をしているようであれば、同じ公共交通として、タクシーの連絡先もあれば良いのではと思うので検討して頂ければ。(県)
- ・コミバスの停留所にタクシーの連絡先も記載している事例もあり、コミバスは本数が多いわけではないので、待てない時はタクシーということでその連絡先を記載するのも良い。(加藤会長)
- ・運転免許証を返納する高齢者が増えている。交通弱者が急激に増えることが予想され、一番心配なのは、スーパー等へ生鮮食料品などの買い物が困る方が今後増えるのではないかと。昼間の時間帯に、タクシーが余っているようで、昼間の割引料金を設定して頂ければ、おもしろい利用のされ方になるのでは。(一宮市)
- ・コミバスは行きの便に比べて帰りの便はだいたい2～3割利用者が少なくなる。帰りは迎えに来てもらうとか、タクシーで帰るとかあるからだと思うが、帰りに良い便がないので買い物に行くのをやめるといふ方もいると考えると、帰りの便はタクシーで少し割

安で行けるとなると、行きバスも乗ってもらえる。そのように出かけたらどうですかと自治体とタクシー会社で宣伝するという事は考えられるかもしれない。(加藤会長)

- ・ 会議所でも買い物難民を非常に問題視している。聞き取り調査を行った結果、重い物が持てない、行く手段がない、どうしたら良いのかということで対応に非常に苦慮している。コミバスも良いが、ドアツードアのタクシーも使える手段として大事。業界だけでなく、市も高齢者対策、福祉対策として取り組むべきテーマではないか。疲弊している商店街対策としても需要拡大につながり、皆さんが関係しあって、上手く良い体制を築くことが大事だと感じた。(一宮商工会議所)
- ・ 高齢者の免許返納者をタクシー業界へのニーズとして取り込んでいくという方策を広報に取り組んでいければ。(一宮警察署)
- ・ コミバスが全て充足しているわけではないので、タクシー利用の促進ということで、コミバスのツールを使って何か協力したり、自治体としても出来ることがあれば推進していきたい。(稲沢市)
- ・ 運賃の話がつかい出がちではあるが、はっきり言うと運賃については今は変えたくない。地域の足として存続していくためには最低限この条件でやっていきたいという一つの表れが運賃であり、歩合制の賃金と連動しており、そう簡単に変えるということは、しかも時間帯や人によって変わるということは難しい。確かに割高感はあるが、高いなりに便利であるということはどう伝えていくかに注力することが大事。
ドライバーによって質が違うという点については、乗務員の教育、質の向上については各社なりに、また業界としても行っているが、その教育している努力を見せていく必要がある。
自家用車を保有することと、タクシーを利用することを比べるとコスト的にそんなに不利ではないということはどう示していくか。(タクシー協会会長)
- ・ 一通り皆様にご意見を伺ったが、もっと具体的なことはたくさんあると思うので、個別に聴取するのか、もしかしたらワーキングみたいなものが必要なのではないかと個人的には思っている。そのあたりは事務局と相談したい。(加藤会長)

(4) 今後のスケジュール等

- ・ 今後のスケジュール等について事務局から「準特定地域計画素案のとりまとめを年度内に行いたい」との趣旨説明がされた。
- ・ 一宮市、稲沢市は公共交通会議があるので、その時に是非意見を集めていただきたい。それを含めて、こちらに意見を頂きたい。事業者はこんな取り組みができそうだと前向きな具体的な案を出していただきたい。商工会議所、警察はタクシーを活用してどんなことができるか、あるいはタクシーに乗るとこんな良いことがあるというPRに対して何をして頂けるかということをお考えいただいて、是非ご協力いただきたい。調査等については、事務局と話し合っ、皆様をお願いすることがあるかもしれないが、

ご協力をお願いしたい。タクシー協議会で取り組んでいくことと、改正公共交通活性化法で策定する形成計画で整合がとれることが非常に大事であるため、是非そのような観点からもこの協議会に意見を頂きたい。逆にタクシー業界の皆様もこの形成計画にタクシーの取組み、タクシーの役割をたくさん書いてもらえるように是非考えていただきたい。(加藤会長)

(5) 閉会